

ぎでんだより かわらばん

発行所
岐阜県電気工事業工業組合
(株)岐阜県電気工事協力会
〒500-8814 岐阜市今川町2の26の3
電話 058 263-2207 FAX 058-265-8755

年頭所感



岐阜県電気工事業工業組合
理事長 森 輝廣

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはおそろいでお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

電力自由化の電力システム改革は、第1弾が2015年4月、第2弾が2016年4月、そして第3弾として本年4月に実施予定の発送電分離と急激に変化しています。

昨年9月に発生した台風15号は千葉市に上陸し、関東各地や静岡県で停電や倒木が相次ぎ、また10月の台風19号は長野県千曲川の決壊により、人的・物的に大きな被害が発生しました。

電気設備は国民生活や経済活動に不可欠なものであり、良質な電気設備の構築を目指して私共が担当している工事や維持管理業務は、大変重要で大きな責任がある仕事です。我々には、この仕事の質を高め、生産性を向上し、施工能力を維持・向上していく責務があると一層感じました。

近年、電気工事業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、東京オリンピック・大阪万博の開催決定や政府の景気浮揚策などにより明るさも見えていますが、現状としては、後継者・人手不足問題が挙げられます。

後継者・人手不足問題ですが、技術者・技能者の不足が顕著になってきており、次代を支える人材の確保と育成が最大の課題となっています。女性の参画も着実に進めていく必要があります。処遇の改善も図っていきたく思います。

電気工事士の需要は、今後も高く、私たちの暮らしと建物がある限り、電気工事士の仕事がなくなるということは考えられません。

昨年も、中濃支部と東濃支部の青年部が工業高校電気科の生徒に対して出前授業を行い、電気工事業の魅力等を伝えました。

引続き、青年部による業界の紹介を行い将来の人材確保のためにも、今後とも教育機関との交流を深めていきたいと思っています。

私どもの業界はライフラインの一端を担い、日常生活はもとより産業発展の基礎を支えるものと自覚し、また、街の電気ドクターとして適正・確実な工事施工をすることにより電気の保安を確保し、お客さまに安全・安心して電気をお使いいただけるように努めてまいります。

本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

新年に寄せて



（株）岐阜県電気工事協力会 代表取締役社長
高橋 勤

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはお揃いで健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

株式会社岐阜県電気工事協力会は今年目標として、国民生活や経済活動の重要なインフラを支える電気を、中部電力株式会社さんと協力して、お客様へ安全・安心にお届けすることを変わらぬ使命として活動していきたいと思っております。
皆様のご協力よろしくお願い致します。

昨年の第35回引込および内線工事技能オリンピック大会では、岐阜県代表チームが見事、準優勝と3位の栄誉を勝ち取ることが出来ました。中部地方の中でも岐阜県の技術力の高さを示すことができ、大変誇りに感じております。この結果は、出場された選手皆さんの努力はもちろんのこと、指導・ご支援を頂いた中部電力の各営業所の皆様そして関係者の皆様に改めて感謝を申し上げたいと思います。

さて、昨年の6月に中部電力株式会社ネットワークカンパニー岐阜支社長様より、協力会安全表彰を受賞することが出来ました。これは、2年連続無災害を達成できたことと、安全パトロールや安全講習会などを効果的に実施してきたことが評価されたものです。

安全は何事においても最優先することを今一度、再認識いただき、無災害が5年、10年と継続していけるよう、会員全員で安全の取り組みを続けていけるよう頑張っていきたいと思っております。

昨年の年頭の挨拶の中で、仕事の幅を広げ、仕事を増やすことを念頭に、各引込工事センターの技術力を向上させていくことを目標にしてきましたところ、全ての引込工事センターに専任班が設置され、体制を整えることが出来ました。専任班体制により、仕事量はもちろん、安全と施工品質が格段に上がっていることを中部電力さんにも認めていただきました。

技術力が向上したことにより、施工能率も向上しているため、本年は、高圧計器工事や引込線改修工事など、仕事の幅を増やしていくことを中部電力さんにもお願いをしていこうと思っております。

最後になりますが、今年も安全を最優先に無事故で1年が過ぎせるように皆さんと共に頑張りたいと思っておりますので、ご支援・ご協力よろしくお願い致します。

新年を迎えて



岐阜県電気工事業工業組合
青年部会長 堀江 典之

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は青年部への格別なるご高配を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

この一年もおかげさまで青年部の仲間達と多くの活動をする事が出来ました。

青年部員の学生との交流会、独居老人宅の電気設備点検、地域に密着したボランティア活動などさまざまな有意義な時間を過ごし、また一歩前進する事が出来ました。

こうしたなか、令和元年10月に創立60周年記念 第33回電気工事業全国大会が金沢で開催され、岐阜からも8名選出させていただきました。この大会は全国の電気工事業工業組合及び青年部員が一同に集まり、意見交換そして、会員同士の交流を深める場として2年に一度開催される大きなイベントです。

ここでこの大会で取り上げられた代表的な活動報告を紹介させていただきます。

一つ目に九州ブロック鹿児島県工組の「天文館ミリオネーション」。鹿児島県工組はもう5年もこの事業を続けているそうです。当初の苦労は相当なものが有ると思いますがイルミネーションはどここの県でも行いやすく、電気工事のイメージアップには最適だったと思います。これを学生も巻き込み交流事業の一つとして確立しているのです。

是非出来る所をマネして取り入れる事が出来ないかわくわくした取り組みでした。

二つ目に北海道電工組の「電気の魅力を知ッテQ」出前事業でより良い業界PRと更なる電気工事業界の認知向上を目指すと共に、生徒目線を第一に考え、楽しく解かり易く電気の魅力を伝えていました。この新しい発想の授業内容で生徒はもちろん先生方にも好評を頂いているそうで来年も是非!!と言われているそうです、やはり高校生との交流事業は先生との関係性も良くなるので単年度ではなく継続して行える様な仕組みが必要だと感じました。まだまだ他にもたくさん素晴らしい活動報告があり、ここで紹介できないのが残念ですが、本当に全国各地の仲間達も頑張っているのだなと痛感しました。

こうした活動を紹介する背景として、岐阜県工組の皆さんと今後も進歩のある活動を進めていきたいということが一つの理由ですが、今すぐ新しいことを取り入れ大きく変わることは容易ではありません。目標を持ちそこに向かって順番に活動すること、そして皆さんのご理解ご協力が無ければ成し得ることが出来ません。

また、青年部の活動状況があまり詳しく知られていないという現状も一つの問題点です。あらためて情報の伝達手段についてもインターネットやSNS等を用いて青年部員をはじめ幅広い層へ伝わるよう早急に対処していきたいと考えています。

この他にもさまざまな改善点はあると思いますが、これまでの良き活動や習慣は引き続き守り、変えなければいけない慣行は既成概念にとらわれることなく改善し、青年部活動がより成長できる場として機能することを期待します!!

引き続き青年部一同、次世代を担うという責任感と意識を高め、活気のある活動を続けていくことで業界の発展と社会に貢献できるよう取り組んでいく所存ですので、皆様には変わらぬご支援とご協力をお願いしますとともに、ご健康とご多幸を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて



中部電力株式会社 執行役員 岐阜支店長
電力ネットワークカンパニー 岐阜支社長
坂上 泰久

新年あけましておめでとうございます。株式会社岐阜県電気工事協力会ならびに、岐阜県電気工事業工業組合の皆さまにおかれましては、健やかでよい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、弊社の事業に際しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、11月に開催されました「第35回引込および内線工事技能オリンピック大会」において、岐阜県を代表する2チームが出場し、岐阜県Aチームが準優勝、岐阜県Bチームが3位という大変輝かしい結果を残されました。特に、実技・技能部門においては、岐阜Aチームが1位という成績で、岐阜県の技術力の高さを大変誇らしく感じております。このような安全・品質を高める取り組みが、引込線・計器工事に発揮されており、無災害を継続し高い品質で施工されている結果に繋がっているものだと感じております。今後も引き続き、お客さまへ安全で品質の高い工事のご提供をお願いいたします。

また、昨年は一昨年を引き続き台風が猛威を振るった年でした。9月に発生した台風15号では、千葉県を中心に2週間以上にわたる長期の停電が発生しました。10月の台風19号では、長野県の広範囲で記録的な大雨に見舞われ、千曲川の氾濫により、長野市を中心に浸水被害も多く発生しました。浸水被害では、住宅の絶縁測定や計量器の取替などを長野県電気工事協力会の皆さまにも応援いただき無事復旧することが出来ました。一連の災害を通じて、改めて「電力が重要なインフラである」ことを再認識し、レジリエンスの一層の強化が必要であると感じております。

次にコンプライアンスについてです。ご承知のように、関西電力において多額の金品受領という不祥事が発生しました。本事案は、電力業界に対する社会からの信頼を著しく損なうもので、当社へも同様の疑念を持たれていることから、新たにガイドラインを制定し、コンプライアンス体制の強化に努めて参りますとともに、皆様方とは、これまで通りの透明性のある健全な関係を維持して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、中部電力は本年4月から送配電事業と販売事業を分社化し、新しい事業体制になります。送配電事業会社名は「中部電力パワーグリッド株式会社」です。社名は変わりますが、電力が国民生活や経済活動を支える重要なインフラであり、電力の安定供給の確保は変わらぬ使命であります。そのうえで、託送制度改革の進展や需給構造の大きな変化を念頭に、デジタル技術を活用した合理的な設備形成・運用のあり方を確立していかなければならないため、今後も重要なパートナーである皆様方と協力しながら事業を進めていきたいと考えております。

最後になりますが、皆々さまにおかれましては、本年が安全で、益々ご繁栄されますことを祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

岐阜支部 第一種電気工事士受験準備講習会

9月7日(土)、8日(日)に第一種電気工事士受験準備講習会の筆記講習を、11月23日(土)、24日(日)に実技講習を行いました。

講師は前年と同じく、組合員のトウエフエー(株) 武藤好則様、(株)島電気商会 北川孝太郎様が務め、実技講習では講師のサポート役として若山商店 若山慎治様と、(有)加茂電設 土屋篤司様にもご協力いただき、実技講習初日は受講者14名に対し講師4名で対応しました。仕事の都合などで講習を半日休まれる受講生もありましたが、全員熱心に問題に取り組んでいました。

なお、第二種電気工事士受験準備講習会も、毎年5月に筆記講習を、7月に実技講習を行っております。興味のある方は、岐阜支部までご連絡ください。TEL 058-263-6010



中濃支部 ひとり暮らし高齢者宅電気設備点検

12月3日(火)中濃支部郡上区組合員12名は、中部電力(株)八幡SS職員の方々と協力し、地域貢献の推進として ひとり暮らし高齢者宅15軒の電気設備無料点検を行いました。後日、点検先の方よりお礼のお手紙をいただきました。

略
 何時も色々お世話になっております
 有難うございます
 今回の家内電気設備の無料点検につきましては
 当日の日程内容等 事多にお知らせ下さり
 安心して点検を受けさせて頂く事が出来ました
 本日12名が中電の取組の方と 郡上電気組合の
 ホンテアの方が 三名 未宅 各所まで丁寧に
 点検作業として下さり 御同等について
 ちゃんと指示 指導して下さいました
 お陰様で古い家屋の我が家も 何とか安心
 して生活出来そうです 本当に嬉しく
 有難く感謝申し上げます



**登録料
年会費
無料**

第一種電気工事士の皆さまへ 受講忘れのないよう登録を！

電気工事士法により5年以内に定期講習を受講することが義務づけられております。また、受講をしない場合は法律に違反することになり、当該都道府県知事から第一種工事士免状の返納を命ぜられることがあります。

登録者サービス
(事前登録された方)

◆ 受講期限3カ月前までに講習をお知らせいたします。

本サービスにご登録いただくだけで、忘れてしまいがちな受講期限をお知らせするとともに、さまざまな特典をご用意しています。

今すぐ登録！

登録は下記のいずれかの方法でお申込みください。

電話
03-3435-0897

免状番号、氏名等を連絡

(土日祝日を除く、
9:00～17:00)



ファックス
03-3435-0828

下記の登録用紙に記入して送信



インターネット
<http://www.eei.or.jp>

上記URLまたはQRコードよりアクセスして申し込みフォームに必要事項を入力して送信！



【登録用紙】

免状番号	都道府県 第 号	定期講習を受講された方は、 最終受講履歴（免状の記載をご確認ください）	
交付年月日	昭和・平成・令和 年 月 日	平成・令和 年 月 日	
フリガナ			
氏名		生年月日	昭和・平成 年 月 日
現住所	〒 TEL: (日中ご連絡がとれる番号をご記入ください)		
所属企業			

※ご記入頂いた個人情報は第一種電気工事士定期講習にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

● お申込み先 ●

一般財団法人 電気工事技術講習センター
(指定講習機関第1号)
〒105-0004 東京都港区新橋4-7-2
6 東洋海事ビル4階
TEL: 03-3435-0897 FAX: 03-3435-0828
URL: <http://www.eei.or.jp>

— 実施協力団体 —

- ・全日本電気工業工業組合連合会
- ・各都道府県電気工事(業)工業組合